

■ 支え合うきよせ委員会の役割とは

当日資料2
第5回生活支援・介護予防
サービス提供主体等協議体

		役割	現状	今後の方向性(案)
第一層	A	地域のニーズの見える化	・地域包括支援センター、社会福祉協議会で保持している情報を各地域丁目ごとに集約	・整理、分析した情報の“見える化”について議論する
			・アンケート調査の実施を検討	・清瀬市で要支援者のサービス利用を調査した結果の分析(ケアプラン分析)を行い、地域毎のサービス利用ニーズの傾向を把握 ・上記ニーズ傾向を元に、地域特性に応じたアンケート調査を行う
				・平成28年7月に協議体で提案していた要支援認定者のケアプラン分析を行う ・地域のニーズを把握するための方法について議論する
	B	地域の資源の見える化	・地域包括支援センター、社会福祉協議会で保持している情報を各地域丁目ごとに集約	・整理、分析した情報の“見える化”について議論する
	C	地域組織等多様な主体への協力依頼などの働きかけ		・A,Bの取り組みを進めて地域のニーズと資源を明らかにし、多様な主体へ協力を呼びかける際に活用する
	D	関係者のネットワーク化		・Cの取り組みを進め、支え合いの活動に取り組む多様な主体をネットワーク化する ・Fの取り組みを充実するために、ネットワーク化を進め、情報交換できる体制をつくる ・支え合いの活動をするために必要なネットワークについて議論する
	E	目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一	・協議体の役割について資料にて確認	・A,Bの取り組みを進めて地域のニーズと資源を明らかにし、目指す地域の姿や方針について議論する ・目指す地域の姿や方針について議論し、意識の統一を図る
F	生活支援の担い手の養成やサービスの開発(担い手を養成し、組織化し、担い手を支援活動につなげる機能)	・協議体でフォーラムや勉強会を開催	・フォーラムや勉強会に参加した方々の想いが活動につながるような取り組みを企画する ・A,B,C,D,Eの取り組みを進め、地域の実情に応じた生活支援の担い手の養成やサービスの開発を目指す	